

## 第143回山形市都市計画審議会議事録

- 1 開催日時 令和7年2月14日（金）午前10時30分～午前11時30分
- 2 会場 山形市役所 11階 大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員13名  
安久津委員、佐藤委員、高橋委員、渋江委員、高澤委員、宮舘委員、山口委員、齋藤委員、遠藤委員、板垣委員、鈴木委員、峯田委員、阿部委員  
(欠席 三浦委員、姥浦委員、平吹委員、柿崎委員、森田委員)
  - (2) 幹事16名  
まちづくり政策部長、まちづくり政策部都市政策調整監（兼）都市整備部都市政策調整監、商工観光部長、農林部長、都市整備部長、上下水道部長、公共交通課長、ブランド戦略課長、農政課長、まちづくり政策課長、まちなみデザイン課長、建築指導課長、公園緑地課長、道路整備課長、河川整備課長、道路維持課長  
(欠席 企画調整部長、企画調整課長、産業政策課長、経営企画課長)
- 4 傍聴者
  - (1) 一般傍聴者 4名
  - (2) 報道機関 0名
- 5 意見聴取  
山形市景観計画の変更(案)について
- 6 資料の名称
  - (1) 第143回山形市都市計画審議会意見聴取資料
  - (2) 第143回山形市都市計画審議会参考資料
- 7 内容
  - (1) 開会（まちづくり政策課課長補佐）
  - (2) まちづくり政策部長挨拶
  - (3) 事務局から報告（まちづくり政策課課長補佐）  
会長欠席のため副会長が職務代理することを報告  
（山形市都市計画審議会条例第6条第3項）  
開会要件を満たすことを報告（山形市都市計画審議会条例第7条第2項）  
要件：委員の2分の1以上の出席
  - (4) 副会長挨拶
  - (5) 議事録署名委員の指名（副会長）
    - 1号委員 渋江 朋博 委員
    - 2号委員 齋藤 一美 委員

(6) 意見聴取（内容は以下の通り）

事務局	（説明）	
事	長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等あればお願いしたい。
議		
委	員	観光パンフレット等に山寺の写真を載せる場合、山寺駅からお寺を向いて撮った写真やお寺を拡大して撮る写真が多いが、SNS等に投稿されている写真はお寺の展望スペースから町を見下ろすように撮ったものが多い。今回のEエリアについては展望スペースからどのくらい視界に入るのか。
まちなみデザイン課長		資料2の1ページ目右上の図をご覧いただきたい。 図からは隠れてしまっているがおおよそBと記載ある場所に根本中堂があり、そこから登ったところに五大堂がある。Eエリアは、五大堂から山間の旧二口街道に沿って伸びる街道筋の町並みをしっかり望むことができるエリアである。
委	員	山寺と同じような景観を持つ観光地として、福島県の会津若松市に飯盛山という白虎隊の聖地がある。鶴ヶ城やさざえ堂というお堂の写真が観光のパンフレットに使われているが、観光客は飯盛山から見下ろしたお城を含めた町並みをSNSに投稿することが多い。会津若松市では近隣のコンビニの配色を制限するなどにより、配慮している。山寺においても、Eエリアも含めて観光客などの視点に立った景観の整備が求められるため、この度の変更については賛成の立場である。
委	員	資料3の2ページと6ページに、赤色の清涼飲料水の自動販売機がある。山形市景観計画で、建造物や屋外広告物については景観に調和したものにする方向性が示されているが、自動販売機は規制の対象外になるのか。また、違う制度で自動販売機の規制があるのかご教示いただきたい。
まちなみデザイン課長		資料3の22ページをご覧いただきたい。山寺地区において、自動販売機の色については焦げ茶を基本とし、他自治体でおこなっているように木材などで目隠しをして修景することなどを規定している。こちらの規定はすぐに適合させなければならないものでなく、自動販売機の更新時期を捉えて適合する形に徐々に変えていくことで地元の方々と合意している。
委	員	今写真に載っているものは時間の経過とともに色彩も変わっていく認識でよろしいか。
まちなみデザイン課長		ご指摘のとおりである。改善に向けて努めていく。
委	員	金山町では指定する地区で新築する場合は、補助金を出して白壁にしてもらうことで短期間に町並み形成が進み、非常に良い景観が整った印象を受けている。 馬形地区を重点地区に追加する案には賛成であるが、今後方針に合わない例えば陸屋根の家を建てたい方に対して日本風の屋根に作ってもらうよう指導することになると思うが、補助金などにより支援する仕組みはあるのか。また、年度単位で一定の額を予算化しながら長期間にわたって徐々に町並みを形成していくのであれば、何年くらいで

まちなみデザイン課長	<p>理想の形になると考えているか。</p> <p>金山町の仕組みに関しては、30年ほど前に地元の金山杉を消費していくという産業との結びつきの中で産まれた補助制度である。近場であれば银山温泉も、尾花沢市が町の雰囲気を守るための改修に対する補助制度を実施している。</p> <p>山形市ではそういった制度を勉強し、令和3年度から基準に適合した建築行為に対しては補助金を交付して改修を誘導している。山寺地区と蔵王温泉地区で実施しており、昨年度までの実績ベースは約20%の建築物が基準に適合する改修を終えている。当面この補助制度を継続する予定で予算要求などもおこなっていく。</p> <p>仮の試算であるが、これまでのペースで補助制度を活用した改修が進めば、5年後の令和11年度には概ね6割の改修が終わると見込んでいる。概ね6割の適合となれば景観面には相当程度良い影響が出てくるため、現在はそこを目標として取り組んでいる。</p>
委員 まちなみデザイン課長	<p>補助事業は住民に周知されているか。</p> <p>補助事業の創設時に全戸配布で周知した。また毎年制度の周知にあわせて改修時期についてのアンケート調査を実施しており、アンケートの結果を踏まえて次年度の予算要求額を検討している。</p>
委員 まちなみデザイン課長	<p>追加エリアは農地が多く残っている土地であり、山寺地区全体を盛り上げていくためには大切な場所だと感じている。農地を守りながら、観光者も一緒に関われる動きが今後出てくることを期待している。山寺地区全体の中で農業従事者が営農を継続できる環境が整うことで、景観があわせて守られていけば良いと思う。</p> <p>馬形地区については今回追加という形をお願いしているが、眺望景観という形で当初計画に盛り込むことを提案させてもらっていた。しかし地域との話し合いの中で、それは馬形地区としてのまちづくりに結びつかないとの指摘をいただき、改めて地域の方向性を地元の皆様と探る必要があるということで当初のエリア指定からは除いた経緯がある。</p> <p>指摘いただいたように優良な農地や堰のように、非常に良好な景観資源がある。地域の方々は、これらを将来にわたって繋いでいきたいという希望が強いため、景観保全的な活動を通じて、一緒にまちをつくらなければならないと考えている。</p>
委員 まちなみデザイン課長	<p>馬形地区の奥の方へ進むと、住宅の間から雑草が繁茂した耕作放棄地や破れかけのビニールハウスなどが見受けられるため指導をお願いしたい。</p> <p>また、馬形地区から五大堂の方を見る景色は、特に秋は紅葉と相まって素晴らしい景色になる。写真を撮る方が混まないように撮影スポットを設けてもらいたい。</p> <p>これから地元の皆様と協力してまちづくりをおこなっていく。今いただいた意見を含めて様々な資源を活用した景観づくりについて協議を進めていく。</p>

- 委員 資料1の5ページの5(1)準備会の構成員のところ馬形地区町内会37名とあるが、この人数は会員全員か。
- まちなみデザイン課長 町内の全世帯から参画いただいている。
- 委員 非常にポテンシャルの高い地域だと思っており資料2の1ページ目にある写真もとても美しい。これからも山寺に多くの観光客が来ると考えると、外部の民泊のような業者がきて景観を壊してしまう可能性もあるため、そのようなことがある前に景観重点地区に指定されるのは非常に良いと思う。ぜひ住民の皆様と一緒にこういった景観の形成につなげていただきたい。
- (7) その他
- 委員 山寺地区ではないが、大森トンネルに入る手前に走行すると花笠音頭が鳴る舗装がされた道路があるが、周知する看板が小さく目立たない感じがするため、見やすくわかりやすい作りにもしてもらいたい。また大森トンネルは走行中に車内でラジオなどが切れてしまう。アンテナ設置なども検討してもらいたい。
- 都市整備部長 大森トンネル手前の花笠音頭については、3年ぐらい前に山寺のPRということで特殊な舗装をおこなった。看板が小さいことと、木が被さって見えにくいことなどが指摘されているため、改善に向けて検討していく。ラジオの件も手法を含め今後検討させていただきたい。

次回の審議会は案件あれば7月に、交付式と併せて開催予定。

- (8) 閉会 (まちづくり政策課課長補佐)